



伊藤ひろし県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

災害発生時、踏切が長時間遮断



登壇し、一般質問を行う伊藤寛県議

習志野市選出の伊藤寛県議は、誰もが住みやすいと思えるふるさとづくりに力を注いでいます。12月定例県議会では一般質問に臨み、災害対策や交通安全教育、大久保職員住宅跡地の利用などについて質問しました。大きな地震が発生した際には、鉄道の踏切が長時間、閉まったままになってしまいますが、伊藤県議は、緊急車両走行の妨げになってしまおうとして対応を求めました。伊藤県議の質疑と熊谷知事ら県執行部の答弁を紹介します。

12月定例県議会一般質問

伊藤議員 近年、南海トラフ地震や首都直下地震を初めとする大規模地震の発生が予想されており、千葉県でも本年の10月に千葉県北西部を震源とする地震が発生し、東京や埼玉で最大震度5強、県内においても最大震度5弱を記録したことは記憶に新しい。
この地震で、鉄道についても一斉に運転見合わせとなり、運転の再開まで、かなりの時間を要した路線もあった。このような災害時は、列車の駅間での停止

この影響で、緊急車両についても、大幅な迂回を迫られ、通常7分で到着する道のりに、42分を費やすことになり、緊急救命活動などに大きな支障が生じたと聞いている。
これを受けて、国は令和3年4月に踏み切り道改良促進法を改正し、国が指定した踏切道について、鉄道事業者と道路管理者により、災害時に確実に踏切が優先的に解放されるよう、仕組みや手段をあらかじめ定めておく制度が創設された。
私の地元習志野市においても、複数の踏切道の長時間遮断が、大阪府北部地震のように、身近でも起こり得ることから、高度緊急医療センターなどへの緊急搬送時における踏切道の長時間遮断が、大阪府北部地震のように、身近でも起こり得る課題である。

地震などの災害時には、多くの負傷者が出たり、また、火災の発生などが懸念されることから、今後の災害の発生時に備え、緊急救命活動や復旧作業などが円滑に進められるよう、踏切道の管理方法をあらかじめ定めておくことは、大変重要であると考えています。
そこで、災害発生時における踏切道の長時間遮断対応について、現在の取り組み状況はどうか。
県土整備部長 踏切道改良促進法の改正により、災害時の管理方法を定める必要がある踏切道として、本年6月に、県内では8カ所が指定されたところです。
現在、警察や消防などの関係機関との災害時の連絡体制や、長時間の通行遮断の解消に向けた手順、情報提供の仕組み等の具体的な管理方法に関して、指定さ

伊藤ひろし県議プロフィール

略歴

- 1975年 富山県に生まれる
- 1994年 東海大学付属望洋高校卒業
- 1998年 東海大学政治経済学部卒業
薬品販売業に従事
- 2004年 松下政経塾の地域政経塾卒業
- 2007年 習志野市議会議員当選(3期)
- 2019年 千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 予算委員会委員
健康福祉常任委員会委員

資格

- 中学・高校教員免許、防災士

れた踏切道を管理する鉄道事業者と協議を実施しています。
令和4年6月末までに、災害時の管理方法を、各鉄道事業者と策定してまいります。

伊藤議員 災害時の長時間遮断は、緊急車両の通行支障となることから、鉄道事業者と連携し、災害時の管理方法を早急に定めていただくよう要望します。

緊急車両通行に支障 速やかな対応方法を要望



歩行者の安全を守る踏切だが、大地震発生時には長時間、遮断の懸念も

●県政や習志野市のまちづくりに関する相談はお気軽にどうぞ

伊藤ひろし 県議事務所 〒275-0021 習志野市袖ヶ浦 2-4-1-102 TEL.047-454-8358

土砂災害の危険はらむ土地

7年度までに区域指定 10744カ所を調査

伊藤議員 千葉県では、令和元年10月25日の記録的な大雨により、156件の土砂災害が発生し、崖崩れにより4名の方が無くなられるという痛ましい被害が発生した。死亡事故が

発生した現場は、いずれも土砂災害警戒区域指定がされていなかった。国は従来の地形図判読では抽出が困難な力所への対応を行うため、「土砂災害防止対策基本指針」を改訂し、県ではこの指針に基づき、あらたに1万744カ所の危険力所を基礎調査予定力所として選定し、概ね5年間で現地調査を実施して区域指定完了を目指していくと聞いている。

そこでどうか、土砂災害警戒区域の指定において、区域指定に向けた現在の取り組み状況はどうか。また、来年度どのように取り組んでいくのか。

伊藤議員 交通安全教育についてどうか。県警では交通安全教育指針の改正を受けてどのように取り組んでいるのか。

警察本部長 県警では、幼児から高齢者まで、教育を受ける者の年齢、心身の発達段階、ライフステージ

に応じて段階的かつ体系的な交通安全教育を実施しております。

また、道路を横断する際に手を挙げて渡るように指導しているところですが、改正を受け、中学生以上に対する交通安全教育において

も、手で合図をする等、運転者に対して横断する意思を明確に伝え、安全を確認してから横断を始めるように指導しているところです。

交通安全教育の指針改正 教員などに指導徹底を

伊藤議員 交通安全教育の指針改正についてどうか。県警では交通安全教育指針の改正を受けてどのように取り組んでいるのか。

警察本部長 県警では、幼児から高齢者まで、教育を受ける者の年齢、心身の発達段階、ライフステージ

に応じて段階的かつ体系的な交通安全教育を実施しております。

また、道路を横断する際に手を挙げて渡るように指導しているところですが、改正を受け、中学生以上に対する交通安全教育において

も、手で合図をする等、運転者に対して横断する意思を明確に伝え、安全を確認してから横断を始めるように指導しているところです。

また、県から市町村に対して、毎月、新規開設事業所に係る情報提供を行っており、今後も市町村との情報共有に努めてまいります。



議場の自席で再質問を行う伊藤議員

再質問 伊藤議員 市町が作成するハザードマップに区域指定力所を早期に反映させるため、県として、どのように支援していくのか。

伊藤議員 市町が作成した力所から随時、ハザードマップ作成に必要なデータを提供するとともに、作成方法の助言や好事例の紹介等を行う

再質問 伊藤議員 今後、歩行者保護「ゼブラ・ストップ」の徹底を推進するとともに、歩行者に対して、道路を横断する際は手を上げるなどして運転者に明確に意思表示をするよう、積極的な広報啓発に努めてまいります。

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

大久保職員住宅跡地 利用の早期実現要望

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現

再質問 伊藤議員 当該地の利活用の早期実現